



那珂湊駅構内（画：清水喜輝氏）



奉仕しよう
みんなの
人生を豊かに
するために

WEEKLY REPORT

No.3034 2022年4月25日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 藤屋ホテル（当面の間）
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★ 点 鐘

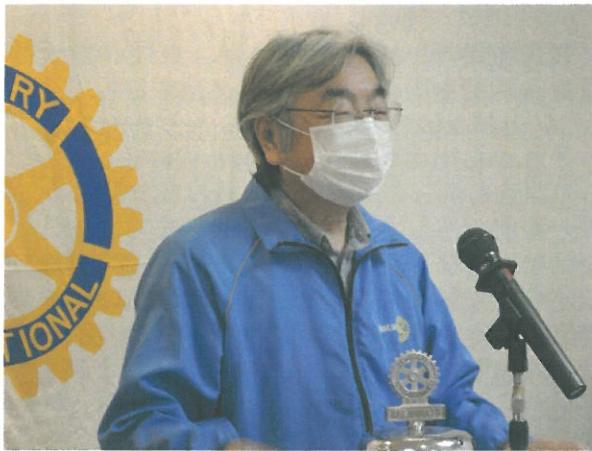
根本 博 会長

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会:遊座文郎 S.A.A.

★ 会長挨拶

根本 博 会長



今日はまず皆さんにお詫びなのですが、製品検査の検査表の作成をしておりまして、夢中になつたら理事会を忘れてしまいました。急遽作業服を脱いでジャンパーを羽織つて来ました。胸と背中にマークが入っているから、まあ支障ないのかなと思います。そんな感じできてしまつたこと、皆さんにお詫びしたいと思います。

先週幹事から報告がありました。ロータリ賞の件、昨年度は2820地区全クラブが受賞ということでした。今回のセミナーではまだ7クラブが要件を満たしたのみということでした。当ク

ラブも2~3日前に会長幹事と事務局の3人で登録を済ませました。25項目中14項目がクリアでき、本年度ロータリー賞は取れると思います。何らかの影響で1項目減っても、要件は13項目ですのでギリギリでクリアです。これも皆さんのご協力があつてのことと感謝いたします。

あとははまぎくの件、5月30日是非皆さんのご協力で実行出来るようにしていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

私の任期もあと2ヶ月ちょっととなりました。やらなければならぬ大きなことが1つ2つ残っていますので、最終的には皆さんに相談してということが出てくるとは思いますが、その時は前向きな形で対応して頂けたらと思います。まだちょっと詳しいことは言えなくて申し訳ありませんが、その際は何卒よろしくご協力お願ひいたします。

今回も12名の出席ということで、本当に有り難うございます。なかなか15人以上というのが難しい状況ですが、本日のメンバーが大体固定かなと思います。決して良いことではないと思いますが、このメンバーを欠けることなく更に声かけをし、出席する会員が一人でも多くなるよう働きかけていけたらと思います。次年度につきましても同じです。よろしくお願ひ申し上げます。以上です。

★ 幹事報告

第9回理事会報告
はまぎく植栽について…5月30日に日程は決定。

四つのテスト

The Four-Way Test

言 行 は こ れ に 照 ら し て か ら
Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
Is it the TRUTH ?
2. みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned ?
3. 好意と友情を深めるか
Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP ?
4. みんなのためになるかどうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

金子明夫 幹事

本日第一小学校にこの旨を打診し、参加についての打ち合わせを行います。地区大会について…本日現在参加者が7名です。できる限り皆さんには参加して頂きたく改めてお願い申し上げます。地区協議会報告…参加されました川崎誠次期会長と磯崎孝委員長にこのあと報告して頂きたいと思います。次年度ガバナー公式訪問の日程…年度も替わっていないのですが次年度ガバナー補佐より2022-23年度のガバナー公式訪問に関する日程の提示がございました。那珂湊クラブは9月12日です。また本年度も海岸清掃があります、9月18日(日)阿字ヶ浦となっています。詳しい内容がまだ届いておりませんので日程だけお知らせいたします。

★出席報告

会員数	24名
出席者	12名
欠席者	12名
メーキャップ	10名
出席率	91.6%

★地区協議会報告

川崎 誠 次年度会長



会長になつたらということで3回の研修会ということでつくば市の日航つくばへ磯崎孝先輩と行って参りました。今年のガバナーは「とにかく楽しくやりましょう」というような人です。会場では40代のJC上がりの会員が多くいるクラブではその人達だけで大きく盛り上がっていますけれども、どうしても他の近隣地区的クラブは盛り上がりに欠ける、そんな印象を受けました。休憩時間に東海那珂クラブの次期会長の橋本さんと機会があつて「どうやつたら楽しい会が出来るんでしょうね」という話をしたところ「ああいう若手がいればね」と向こうの方の40代ぐらいの若手を指さして笑って言っていました。「要は会長が明るくやればいいんじゃない」ともいつてました。会長が暗いと会も暗くなる、会長が自ら明るく例会に参加して皆さんと賑やかにやれたら良いかなと考えています。

今、幹事から報告があった点も含め私から補足になりますが、那珂湊クラブは9月12日にガバナー公式訪問が予定されています。3週間前



には現況報告書を4部提出して下さいということを言われました。うち1部はガバナー補佐に送ってくださいとのことです。現況報告書の各委員長の報告を書く訳ですが、その報告を読んで頂くよりは、今後こういう風にしたいんだといった希望を発表して欲しいと話されていました。その辺は補足させて頂きます。それと海岸清掃の話も出ましたけれども、今年のように結城や下館のクラブが一齊に阿字ヶ浦海岸に集まるのではなくて、それぞれのクラブの近くの河川や湖沼を、その地区的クラブが担当して清掃を行って欲しいとのことでした。それとロータリー一賞ですが、昨日までに地区内55クラブのうち32クラブの申請があったそうです。

あとは資料に沿つてお話ししたいと思います。まず資料の5頁、送金カレンダーということでお人頭分担金」というのがあります。それが予算に35ドルと書いてあったのですが、それが35ドル50セントに上がるそうです。それで毎年1ドル50セントずつ上げていって最終的には前期40ドル後期40ドル、合計80ドルの一人あたりの会費、分担金になるそうです。それと地区年間予定表というのも貰ってきましたが、重複していたクラブがあつたので調整しますということでした。

公式訪問のことについて移りますが、訪問の際の懇親会、時勢もありますので全クラブともご遠慮したいとおっしゃっていました。

それから出席率のことを言つていましたが、この報告も無しだそうです。後は前々回のセミナー報告でもしましたが、2030年までにはどんな風な形になるのか分かりませんが、茨城県を2分するような言い方をしていました。1,000人単位で2分するということらしいです。今茨城県、2820地区は会員数が1,800人ちょっとおりますが、これを例え南と北とか、東と西とかそのような分け方で、その中にそれぞれのリーダーを置いてロータリーとしての活動を行うような流れになるのかなということでした。水戸西クラブのパストガバナーの高橋賢吾さんがシカゴに行って、規定審議会に参加してきてその結果ということで報告されていました。

今言ったように1,800何十人かのロータリアンが県内にいる訳ですが、2,000人にしようということで、特に会員増強には力を入れて欲しいとのことでした。第2分区では常陸太田クラブが結構会員が増えているんです。私が幹事の時も確かに8名ぐらい会員を増やしていました。たし

かあそこにはマシコタツロウさんといつて「ハナミズキ」の作曲をされた方も名誉会員ということになっているそうです。それでも今年度も増えているというようなことをおっしゃっていました。他のクラブは大体が現状維持、もしくは減少の傾向にあるようです。それから強調されていた点は、女性会員を増やして欲しいということでした。湊クラブで女性会員を増やすというのはちょっと難しいかなというところがあります。吾妻さん良く入会して頂いたなど本当に感謝しています。水戸のクラブ合計すると40~50人いるそうですが、設計事務所とか事業を営んでいる方が多いそうです。ただやっぱり商売、サービス業とか小売業とかいう方は退会される方が多い、これもコロナの影響なのでしょうか、という話でした。

研修で沢山言われてきたので、全部消化出来ていない部分もあり、思い返せるのはこの辺ですので以上で終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

磯崎 孝 地区職業奉仕員



会長が事細かに説明頂きましたので、私からは手短にお話ししたいと思います。

私は今回の研修会、職業奉仕の地区委員ということで参加致しました。職業奉仕の鈴木富士雄統括委員長はたまたま私と歳が一緒なんです。歯科の博士号を持っていらっしゃいます。元々は東京のご出身で、東京のロータリーに30年所属されていたそうです。茨城の古河クラブに入つて5年ということでロータリー歴35年という方でいらっしゃいます。研修中の話で、ロータリーの職業奉仕というのはこれまで中心で教わつて参りました。川崎次年度会長も先程来申されておりますが、これからロータリー、おそらく2030年頃には職業奉仕はロータリーの中心ではなくなるであろうと言われています。

それでは何が変わるかといひますと、他の委員会、社会奉仕や国際奉仕などと同列になって突出したものではなくなると言うことらしいです。それで中心に何が来るかといふと「奉仕の理念」がその中心になるそうです。その奉仕の理念を鈴木さんの解釈によれば「世のため人のために自分が持つっている能力を全力で心を込めて捧げること、そうした利他の精神が自分の幸せにつながる、自分を活かす道であるということです。ロータリーの「奉仕の理念」は、どこか

遠くにあって仰ぎ見るものではなく、自分の個人生活、職業生活、社会生活の中に実現すべきものでしょう。」とのことです。「ロータリーの「奉仕の理念」の実践が社会の中で、自分を活かす道であり、社会をよい方向に導く強い力をもつてることを私達はもっと信じてよいのではないかでしょうか。」ともおっしゃられていました。

職業奉仕でいいと重点分野に新たに加わった「環境問題」も重視していくべきだと言つておられました。それから「職場訪問(職場見学)」これも実施していくべきだと言つておられました。また地区の活動として現場の見学会を実施するということです。「ホテルオークラ」を予定しているそうで、ホテルオークラの整理整頓されたアメニティの事例など、その経営姿勢にはかなり学ぶ点があるとおっしゃられています。来年2023年1月の開催予定だそうです。

1905年にロータリーは設立しました。1905年といいますと映画では「アンタッチャブル」で描かれていた時代です。あの何にも構わないといふでもない時代に、規律のあるロータリークラブを誕生させたということはとても意義深いものがあると思います。すでに110数年を数える歴史の上に立つたロータリーも、ある意味転換点を迎えているのではないかということを申し上げて報告とさせて頂きたいと思います。

★卓話「HPVワクチンをめぐって」

遊座 文郎 会員



- 2010年11月より 国と地方自治体による公費助成開始
- 2013年3月より メディアにより、全身の痛みや歩行障害などの副反応が繰り返し報道、被害者の会設立
- 2013年4月より 定期接種化
- 2013年6月に厚労省が積極的接種勧奨の中止を自治体に要請
- 2013年12月25日以降、厚労省の副反応検討部会で審議:広汎な痺痛または運動障害をきたした症例の機序として心身の反応(機能性身体症状)との見解
- 2014年9月 厚労省よりHPVワクチン接種にかかる診療・相談体制整備、副反応報告の強化の通知
- 2014年12月 日本医師会・日本医学会合同シンポジウム「子宮頸がんワクチンについて考え

る」開催

- ・2015年8月 日本医師会・日本医学会より『HPVワクチン接種後に生じた症状に対する診療の手引き』発刊
- ・2015年9月 厚生労働省が定期接種化前に接種し、症状が出た患者さんの医療費支給などの救済拡大の方針が公表された→ワクチンそのものとの因果関係は不明でも救済期間が設けられた
- ・2015年9月 厚生労働省副反応追跡調査結果 接種された約338万人（約890万回接種）副反応疑い報告があったのは2,584人（全体の0.08%）
- ・発症日・転帰等が把握できた1,739人のうち、回復又は軽快し通院不要となる→1,550人（89.1%）未回復186人副反応疑いの10.7%（全接種者の0.005%）
- ・2016年7月 被害者の会が集団訴訟→まだ続いている
- ・2016年1月より祖父江班による「青少年における渾痛または運動障害を中心とする多様な症状の受領状況に関する全国疫学調査」開始。全ての症状は「接種歴あり」と「接種歴なし」両群に存在し、一方の群だ捌こ特異的な症状はなかった。

「HPVワクチンのその後の動きについて」

子宮頸がん予防HPVワクチンの副反応問題による積極的接種勧奨の差し控え（2013年6月）から8年、コロナ禍の最中に、このように子宮頸がん予防に関する大きな動き

2021年11月12日 HPVワクチン接種勧奨の差し控えの中止が専門部会で決定

2021年11月15日 機会を逃した女性が無料接種できるようにする方針へ

ひたちなか市子宮頸がんワクチン予防接種

1) 子宮頸がんワクチン接種協力医療機関

令和4年度 30医療機関

2) 子宮頸がんワクチン定期接種

【個別通知の対象者】

令和4年度

新高校1年生 個別通知3月末 対象者752名

新中学3年生 5月以降 739名

新中学2年生 5月以降 726名

新中学1年生 5月以降 733名

3) 子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種

積極的勧奨の差し控えにより子宮頸がんワクチンの接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保する観点から、時限的に従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う。

① 対象者

17歳から25歳までの女子

（平成9年度生まれから平成17年度生まれの9学年）

② 期間

令和4年4月から令和7年3月までの3年間

③ 周知・勧奨方法

国は、対象者が接種について検討・判断できるよう、対象者に確実に情報提供を実施していくことが重要としている。



厚生労働省